

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第51号 2020年7月9日
発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会

連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

小金井市議会

新型コロナウイルス感染拡大のなか、 優先整備2路線の関連業務中止と事業見直しを求める意見書を採択

小金井市議会は6月23日、優先整備2路線に関する意見書を採択しました。

優先整備路線に位置付けられた小金井市の都市計画道路2路線に関して、今年度の関連事務の停止と、長期的視点で事業化の見直しを求める意見書

東京都は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下の令和2年5月5日、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた当面の都政の運営について(依命通達)を出した。その中で、「現下の状況を踏まえ速やかに中止する事業」の②「集中的・重点的な取組に注力するために休止する事業」に都市開発の推進等に関する事業も位置付けられている。この東京都の方針には賛同する。新型コロナウイルスという見えない敵と引き続き戦うためにも、小金井都市計画道路3・4・11号線外に関する今年度予定していた環境現況調査の着手を中止すべきである。

市が都市計画マスタープラン策定に向けた事前調査に同封して行ったアンケートでは、小金井市内の事業化予定2路線に関して、周辺地域に住む方人の44%が事業について「知らない」という回答となっている。事業化に向けた事務を進める状況にないことは、この点からも明らかである。

また、今回の未知なる感染症に直面し、働き方のみならず地域の役割や生活様式についても大きな課題を突き付けられた。これは、自治体におけるまちづくりの面でも同様であり、これまでの既成概念にとらわれることなく見直すべきものの検討が必要である。

よって、小金井市議会は、東京都に対し、小金井都市計画道路3・4・11号線外について、今年度の関連事務の停止と、長期的視点で2路線の事業化の見直しを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月23日

小金井市議会議長 五十嵐京子

東京都知事 様

7月5日投票で行われた東京都知事選、小池百合子氏の再選となったが、選挙中に「はけの自然と文化をまもる会」が行ったアンケートでは、4年前にははけ文が行ったアンケートの回答と正反対の回答でした。

小金井への視察という公約も踏みにじったまま、回答では「道路の果たす機能や役割、環境への配慮について、市民の皆様との意見交換を行う」と述べ、前回の「必要に応じて、見直しを進めていく」とした公約は消えてしまった。はけ文のアンケートへの回答は2面に掲載しました。

小池知事へ

はけ文のアンケートに回答

「2路線は重要な路線」

「必要な取組は着実に進める」

3・4・11号線住民の会と国分寺崖線の自然を守る会が 西岡市長に2路線事業中止とアンケートで要望

7月1日、3・4・11号線関係住民の会と国分寺崖線の自然を守る会が、西岡市長と面会し、小金井市が実施した優先整備2路線についてのアンケートの今後の取扱いと、東京都が新型コロナウイルスのもとで、不要不急の事業の凍結・中止を各部局に指示しているもとで、改めて、市長として事業中止を都に求めていくことを要望しました。



「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/) <https://koganeiroad.jimdo.com/>

「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

東京都知事選 候補者アンケート回答紹介

東京都知事選で、はげの自然と文化をまもる会がおこなった都知事アンケートの結果（回答は3候補のみ）を紹介します。

Q1 東京都の道路事業について

宇都宮けんじ

「全面的に見直し、老朽化対策を」

道路計画は全面的に見直します。当然、小金井の道路計画も見直します。不要不急の道路計画を中止し、その予算をコロナ対策に転じるようにします。

道路事業の軸足を「新規整備」から、防災減災対策・「老朽化対策」（維持・補修）中心へと転換します。

- ・「東京外郭環状道路」（外環道）計画は見直し、「外環道ノ2」（地上部街路）の都市計画決定を取り消します。
- ・都市計画道路を全面的に見直します。道路予算を削減します。
- ・区部・多摩地域の「優先整備路線」を見直し、道路予算を削減します。

・環境とコミュニティを分断し、住民に立ち退きを強いる、防災・「不燃化プロジェクト」に名を借りた大型都市計画道路の整備は行いません。

更新が急務となっている高速道路や危険な橋梁の架け替え、首都直下地震による延焼防止のための道路整備など、防災減災対策では予算を削減しません。

小池百合子

「必要な取組は着実に進める」

東京の都市機能を支えるインフラ整備は、都民の利便性と生活の質の向上を図る上でも不可欠である。見直すべきは見直しを行った上で、魅力と強さを兼ね備えたまちづくりのため、真に必要な取組については、着実に進めていく必要がある。

なお、今般の依命通達においては、都民の生命・財産への直接関連性が低く、直ちに取組む優先度が低いと考えられる事業のうち、未着手、未発注一時停止が可能な事業については、原則延期又は中止することとしているが、延期とするか、中止とするかは、感染症の状況や各事業の趣旨などを踏まえ、個別に判断することとしている。

また、都民の生命・財産への直接の関連性が高く、直ちに取組む優先度が高いと考えられる事業については、執行上の工夫を行った上で継続させることとしている。

山本太郎

「根本的に必要性を見直すべき」

公共事業は都民の生活環境や理念性の向上、安全性の確保等に必要不可欠なものであれば採算性を考慮した上で当然推進すべきです。一方で、時代の変遷や社会情勢の変化とともに必要性については変遷するものでもあります。計画が立案されてから時間が経過しその必要性についても疑義が生じることは十分にあり得ます。

しかし、現状の公共事業は立案段階で検討された必要性について、社会情勢を鑑みた見直しがなされることなく進められています。

立案段階から時間を経過した道路計画については、ゼロオプションを含めた根本的な事業の必要性の見直しが当然不可欠です。そもそも公共事業は誰かの犠牲の上に成立するものであってはならないと考えます。

Q2 小金井の2路線について

宇都宮けんじ

「見直すべき」

6月20日に、小金井の都市計画道路が通るという現場を視察させていただきました。

地権者の方、市民の方と直接お話しすることができ、都心から20分足らずのところ、こんな素晴らしい自然があることにびっくりしました。このような場所に都市計画道路を通す計画に大いに疑問を感じます。

小池百合子

「その他」

小金井3・4・1号線及び小金井3・4・11号線は広域避難所へのアクセス向上や生活道路への通過交通を抑制することによる地域の安全性向上などに資する、重要な路線と考えている。あわせて、どのように環境を守っていくか、環境への配慮も重要なテーマであり、現地の地形の状況や景観を踏まえた検討が必要と考える。この道路整備については、様々な意見があるものと承知している。

今後とも、道路の果たす機能や役割、環境への配慮について、市民の皆様との意見交換を行うなど、きめ細かく、丁寧に対応していく。

山本太郎

「見直すべき」

国分寺崖線は東京の河岸段丘形成、地形の成り立ちを示す大切な地形です。同時に、その緑地帯の価値は生物多様性の高さのみならず、生き物の通り道、回廊の機能として非常に重要です。東京都で東西方向に存在する回廊は、多摩川や玉川上水といった水辺の回廊がわずかに機能していますが、国分寺崖線は水辺というより湧水機能を伴う緑地帯としての機能が高く、河川沿いを利用する生物とは異なる生物相の利用、及び鳥類の利用環境として都内では重要な位置づけを有していると思います。みどり率が減少傾向にある東京都においては、保全が最優先されるべきであると考えます。同時に、地元の自治体が反対している計画は、合意形成という観点でも問題があります。

公共事業はその必要性和それにより失われる個人の私権との比較考量が不可欠であり、同時に、しっかりと合意形成が行われることが必要不可欠です。

地元自治体が反対している事業を、東京都が推進することは自治の原則からも到底許されるべきものではありません。本事業は根本的に必要性から検討し直し、民主的な合意形成プロセスを経る必要があると考えます。

＜前回以降の活動経過＞

6月11日 第50回世話人会

6月27日 3・4・11住民の会世話人会

7月1日 住民の会・自然を守る会が市長に要望

7月9日 第51回世話人会

＜今後の日程＞

8月6日 第52回世話人会（予定）

9月7日 青梅街道 I C 取消訴訟 11時 103号法廷

9月9日 東京外環道訴訟 14時 103号法廷